

長崎市提案型協働事業 令和5年度実施事業

評価結果及び審査会コメント

◆評価項目及び評価結果

団体名	NPO 法人 まちラボ		担当課名	生涯学習企画課
事業名	デジタルお悩みサポート事業			
評価項目		評価基準		評価
①	協働のプロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を共有し、相互理解を深めながら、対等・自立の立場で事業に取り組んだか。 ・協定書に明記した役割分担を十分に果たし、双方に十分協議しながら事業を進めたか。 		C
②	目的・目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業は予定通り順調に実施できたか。 ・事業の目的や目標を達成できたか。 		B
③	市民の満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施により、市民の関心や評価は高まったか。 		B
④	協働の相乗効果	<ul style="list-style-type: none"> ・協働で実施することにより、事業効果は上がったか。 ・事業の質の向上や、行政・市民活動団体間のネットワークが強化されたか。 		C
総括		C		

※ 評価項目における評価基準

A…大変優れている B…優れている C…どちらともいえない
D…どちらかといえば不十分である E…不十分である

◆審査会コメント

本事業は、公民館において、市民に向けたスマートフォンの使い方講座やデジタルに関する相談会を開催するとともに、公民館職員に向けた IT 機器の使い方等の勉強会を開催することで、地域の学びの場である公民館が市民の「デジタルお悩み」にも対応し、市民の情報格差の解消に繋げるものである。

公民館単位で市民向けの講座を行うことで、受講者が IT 機器への苦手意識を少しずつ払拭しながら、講座終了時には LINE 機能を用いて受講者同士が画像をやり取りするなど、個人の IT リテラシーの向上や地域住民のネットワークの広がり貢献した点に加え、講座の中で長崎市公式 SNS のフォローを行うなど、市政の広報に努めた点も評価できる。

一方で、この成果については、概ね団体が持つ高い専門性(IT に関する知識や技術、コミュニケーション能力やコーチングスキル等)に依拠するところが大きく、伴走した生涯学習企画課の本事業に取り組む姿勢に対しては満足いく内容ではなかったものとする。

その理由として、まず、最終的な受講者数については、事業の後半に多くの参加者が集まる公民館で実施できたことが要因となって受講者数の目標を達成することができた。しかし、事業の前半における行政側の全体的な進捗管理が十分ではなく、全体を通じて講座を規定の回数実施することに注力した印象を持った。また、本来、この事業は講座の実施のみではなく、合わせて、「公民館職員のスキルアップ」や「民間事業者等

が行うスマホ講座とは異なる地域に密着したサービスの提供」が求められており、公民館職員の意識の向上に向けた取組みや団体の持つ専門性を活用した講座の工夫など、担当課に求められる役割を十分に果たすことができなかった点についても、昨年の中間報告会からの改善が見られない結果となった。

そのうえで、引き続き、当該団体が公民館講座の講師として、担当課と別の形で事業を継続することについては、一定評価したい。さらに、今回の提案型協働事業の経験を活かし、互いに情報共有を図りながら、例えば職員用マニュアルの整備や参加者の目標達成度の確認を行う等、引き続き公民館職員のスキルアップや発展性のある講座にするための工夫を行うなど、今後の両者の連携についても、ぜひ積極的かつ柔軟に進めていくことを期待したい。